



産業保健研修会のご案内

(令和7年12月～令和8年2月)



研修会の申し込み、詳細はHPをご覧ください。

福島産業保健総合支援センター

検索

<https://www.fukushimas.johas.go.jp/>



No.	開催日	時間	研修名	研修内容	講師	開催場所
16	12/03 (水)	13:30～15:30	企業のためのがん治療・両立支援講座 3回シリーズ 第2回 病院と企業がともに築く、肺がん治療と就労の両立支援	肺がんと向き合いながら働く人を支えるために、病院と企業が連携して取り組む就労支援の実践と課題を紹介します。	総合南東北病院 副院長 呼吸器外科診療部長 大杉 純 先生	●ハイブリッド研修 ふくしま医療機器 開発支援センター ※ZoomによりWeb同時 配信も行います。
17	12/08 (月)	13:30～15:30	若年労働者向けメンタルヘルス研修	ストレスへの気づきと対処法、セルフケアのポイントについて学びます。	産業保健相談員 佐藤美恵	Web
18	12/10 (水)	13:30～15:00	メタボリックシンドローム項目改善・予防を目的とした食生活	三大栄養素を中心に栄養のバランスをどのように決めるのか。体内時計（時間栄養学）を整えるための食事の方法についてお話しします。	産業保健相談員 鈴木翔	Web
19	12/16 (火)	13:30～15:30	化学物質からのばく露防止対策における保護具選定の基本的な考え方	保護具は、防じんマスク、防毒マスク、化学防護手袋、保護衣、保護メガネや電動ファン付き呼吸用保護具等があります。事業場で取り扱う化学物質の種類や作業状況により適切に選択することや保守管理について学びます。	産業保健相談員 中村寿雄	Web
20	12/19 (金)	13:30～15:30	産業看護職能力向上講座 「産業看護職のスキルアップ ～産業保健看護専門職制度について～」	産業保健看護職のスキルアップの重要性についてお話しします。また、産業保健看護職の実践能力の向上及び継続教育の目的で日本産業衛生学会が2015年設立した「産業保健看護専門家制度」について解説します。 ※福島産業看護協議会と共催	青森県立保健大学 健康科学部 看護学科 教授 千葉敦子 先生	ふくしま医療機器 開発支援センター
21	12/23 (火)	13:30～15:30	働く人々の生体リズムと睡眠問題	病気の予防や事故防止のために、行動パターンと休み方から日常生活を見直しましょう。	産業保健相談員 五十嵐敦	ビッグパレット ふくしま
22	01/09 (金)	13:30～15:30	メンタルヘルス不調で休職した社員の復職支援について (9/30開催分と同一内容)	休業開始～復職までのステップや職場復帰支援プログラムの策定のポイントについて解説します。	産業保健相談員 佐藤美恵	Web
23	01/14 (水)	13:30～15:00	脳心血管疾患と両立支援	来年から障害者雇用の割合が引き上げられます。身体や内部疾患に障害がある方が働き続けるための体の機能の維持の方法についてお話しします。	産業保健相談員 鈴木翔	Web
24	01/22 (木)	13:30～15:00	エイジフレンドリーな職場づくりの視点で行う衛生管理者の活動	高齢労働者の特性に配慮した職場づくりは全従業員に向けた安全と健康確保に繋がっていることを理解し、衛生管理者の活動に活かしましょう。	産業保健相談員 齋藤恵里子	Web
25	01/29 (木)	13:30～15:00	様々な痛みの考え方と対処方法を考える	肩こり、腰痛、外傷などを含めて、痛みを感じる労働災害は多く存在する。痛みについて知り、対処方法を考えることで、労働災害による影響を軽減できるかもしれません。	産業保健相談員 小俣純一	Web
26	02/03 (火)	13:30～15:30	企業のためのがん治療・両立支援講座 3回シリーズ 第3回 大腸がんについて	詳細は後日お知らせします。	福島県立医科大学 低侵襲腫瘍制御学講座 助教 総合南東北病院 外科科長 外館幸敏 先生	●ハイブリッド研修 ふくしま医療機器 開発支援センター ※ZoomによりWeb同時 配信も行います。
27	02/10 (火)	13:30～15:30	労働衛生管理と労働衛生情報の効果的な活用	労働衛生管理に必要な情報の種類やその活用方法について学びます。	産業保健相談員 平子光基	ふくしま医療機器 開発支援センター
28	02/17 (火)	13:30～15:30	若年労働者の特性と職場適応	貴重な労働力確保のためのアプローチをメンタルヘルスと人材育成を軸に取り上げます。	産業保健相談員 五十嵐敦	Web
29	02/26 (木)	13:30～15:00	肩こりの発生に関連する因子と予防方法、改善方法	PC,スマートフォンなど、モニター等を見る労働などが多く存在しています。肩こりは、何が原因なのか？予防はできるか？改善することはできるか？についてお伝えします。	産業保健相談員 小俣純一	Web